

《乗務員の皆様にお願い》 内勤者一同 G長番号って何に使ってるの？

Z 5

2008. 9. 12

J R東海労東二運分会

確か、去年の11月頃からだだったと思いますが、《乗務員の皆様にお願い》という「内勤者一同」からの文書が準備用テーブルに出され、今も置かれています。

過日、こんなことがあったと、Bさんから報告がありました。Bさんは、7月の管理者異動で「G長」が替わりました。異動直後に、新しい「G長」がBさんに「〇〇さんと替わりました」と、わざわざ教えてくれ、給与明細（正確には「諸給与振込通知書」といいますが）を渡してくれたそうです。

ところが、Bさんと、異動前は同じ「G長」だったAさんから「G長は替わったけど、G番号は同じだった」という話を聞きました。Bさんは、変だなあ〜と思いつつも、グループ内に「G長」が何人もいるのかと思ったそうです。

でも、その後、念のために確かめてみようと思い、意を決して「G長」に「G番号は〇〇さんの時と同じで良いんですか」と聞いたところ「給与明細を渡した時に言いませんでしたか」とのこと、Bさんが、聞いていないと言うと「〇番です」と返ってきました。何と驚いたことに、「G番号」が変わっていたそうです。Bさんは、え〜？ と思いつつも助役さんだって人の子、間違いや勘違いや物忘れがあっても仕方ないか、とそれ以上の話をしませんでした。それ以降は、新しい「G番号」を乗務報告書に記入していたそうです。

目出たし、目出たし…じゃないって！ Bさんは、しかし待てヨ？ と思ったそうです。それは、俺は、前任の「G長」番号を1箇半月以上も乗務報告書に書き続けているのに全く「間違い」を指摘されていなかった、からだそうです。

これがBさんの報告の概要です。みなさん。一度テーブルの上の「お願い」を読んでみて下さい。「各科、このG長番号が記載されていないために、日常業務に支障が発生し、大変困っています」「本当に困っています…」と書いています。

とても、本当に日常業務が支障して大変困っているとは思えません。せめて各科の内勤者一同のなかの一人くらいは、Bさんの「間違い」に気付いても良いはずですが、それとも、Bさんだけは、内勤者一同の日常業務からはずれていたのでしょうか。「G番号」を何に使っているのかが、今ひとつ分からなくなってきました。が、少なくともBさんの「間違い」が「日常業務」には支障してない事はハッキリしました。

「墓穴ほり 粗いあらわに G番号」 C D 頑爺